

■ 航空保安関連資料

航空保安対策について

ハイジャック・テロ対策の強化

ハイジャック検査等の航空保安対策について、引き続き検査システムの拡充や保安体制の強化に対応した支援措置を整備・推進するとともに、侵入防止対策の向上による空港の保安対策の強化及び危機管理のための現場の状況把握システムの拡充を図ります。

<事業の概要>

・空港における保安対策の強化

平成16年4月28日に発生した羽田空港における不法侵入事案等を教訓とし、空港への不法侵入を防止するため、場周フェンスの強化、センサーの設置等、空港における保安対策を強化する。

・貨物用X線検査装置の整備

航空貨物保安をめぐる厳しい情勢に対応するため、新たに、航空会社及びフォワーダーに対して、航空貨物用X線検査装置への補助を行う。

・空港関係者等検査機器の整備

空港関係者等に対する保安検査について国際的な要請が高まっていることを受け、新たに、空港ビル、航空会社に対して、クリーンエリアに出入りする空港関係者等を検査するための金属探知器、X線検査装置への補助及び検査人件費の負担を行う。

・現行のフェーズEに対応した保安体制

ハイジャック検査・受託手荷物検査に係る検査機器の補助及び人件費負担、機側監視業務に係る人件費負担を実施する。

・インライン検査システムの導入

平成16年12月の東京国際空港第2旅客ターミナルビル開業に伴い、既存の第1旅客ターミナルビルが全面改修されることにあわせ、インライン検査システムを導入する。

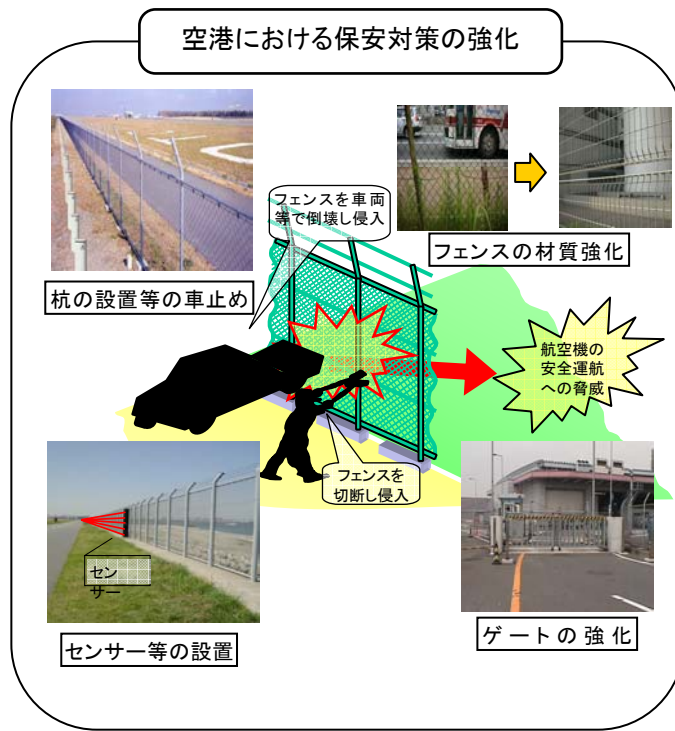
・空港危機管理情報システムの整備

既に第1種空港及び第2種空港に展開している空港危機管理情報システムについて、危機管理体制の更なる強化を図る観点から、当該システムの全国的なネットワークの構築に向けて、他の空港へ展開を図る。

・ハイジャック防止体制等査察の強化及び検査機器の調査研究

地方空港への査察体制の強化及び新たな技術を用いた検査機器実用化に関する調査研究を行う。

空港における保安対策の強化



貨物・空港関係者等検査機器の整備



貨物用X線検査装置



空港関係者等に対する出入管理、
金属探知器を利用した保安検査

空港危機管理情報システム



緊急事態に迅速かつ的確な状況把握を実現